



welcome!!

本市2人目!
地域おこし
協力隊

事務、Web、料理、イラストも!? オールマイティに地域をサポート

年々増加傾向にある、本市の基幹産業等の担い手として従事している市内在住の外国人や、雇用する事業所等と、地域住民との橋渡しを行うため、地域おこし協力隊として着任した岡田さんにお話を伺いました。

多文化共生
まちづくりコーディネーター

おかだ みちこ
岡田 径子さん OKADA MICHIKO

東京都出身。以前は保険の仕事をしており、相談会をメインに担当。興味のあるものはとてあえずやってみるタイプで、食品衛生責任者の資格を持ち、オイル・足つぼマッサージもできる等、オールマイティな人物。

【ミニメモ】
おいしいものをさらに
おいしく料理することが好き

01. いつも作業を行っているスペースにお邪魔させていただきました。さまざまな道具に広報担当は興味津々。

人が集まる場所をつくりたい

岡田さんは、本年6月に、垂水市地域おこし協力隊の多文化共生まちづくりコーディネーターとして活動するため本市へ移住してきました。以前、東京で保険関係の仕事をしてきた岡田さんは、「移住してみたい」との思いから、地域の求人やプロジェクト等を掲載するサイトに登録したところ、垂水市地域おこし協力隊の案内が届きました。

「外国人と地域住民との橋渡しを行う」という業務内容に魅かれて、応募しました。以前住んでいたところが外国人の人口が多く、今後国際化が進んでいく中で、子どもたちにも外国人と交流するきっかけとして、ホームステイを受け入れたいという理由で距離をとってほしくなくて」

今後、垂水市でどのような活動を行っていきたいか伺いました。

「私は人が好きなので、人が集まれる場所を作って、外国人の方も含めた新しい地域ネットワークを繋げて、何かできれば面白いなと思います。

現在、自由に動ける時間も多いので、まずは垂水市で、今何が求められているか知るためにも、地域の皆さんがやってみたいプロジェクトや、相談に乗ってほしいことがあれば、お声がけください。一緒に考えて、実現できるような何かお力になればと思います」

岡田さんの今後の活動に注目です。

地域おこし協力隊に採用されたことをきっかけに、オンラインでデザインや動画等の講座を受講した岡田さん。そこで培った手描きアニメーションを取材中に実践してくださいました（上写真参照）。

「地域おこし協力隊は、広報や市のPR関係等、発信業務を行うことが多いので、何かに使えればいいなと思います。私はあまり英語が話せないのですが、言葉が通じなくても、絵だったり外国人の方も分かりやすいかと思って受講しました」

興味のあるもの、面白そうと思ったものに積極的に挑戦する岡田さん。



03. スマホを道具で固定して撮影します。



02. 手描きアニメーションの作業中。

Q

地域おこし協力隊って？



A

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を自治体が積極的に受け入れ、最長3年間の任務期間中に地域協力活動を行ってもらい、その地域への定住・定着を目指す取り組みです。

Topics /

岡田さんの活動紹介！

ガイドブック等を作成しています。
完成をお楽しみに！

1 Preparing a guidebook on Tarumizu City for coexistence with foreigners

外国人との共生のための垂水市ガイドブックを作成中

I'm trying to make a guidebook not only for foreigners living in Tarumizu City, but also for citizens living together.

垂水市に住む外国人だけでなく、共に生活している市民の方のためのガイドブック作成に挑戦しています。

2 Preparing flyers for multicultural exchange events

多文化交流イベントの案内チラシを作成中

I'm planning to organize exchange events between foreigners and between foreigners and citizens.

外国人同士や、外国人と地域住民との交流イベントを企画していく予定です。

■ イベント申し込みの
お問い合わせ先
企画政策課 政策推進係
☎ 0994-32-1111(内線 245)